

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【向井千秋記念子ども科学館】

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/kagakukan/>

向井千秋記念子ども科学館は、1991年に館林市子ども科学館として開館しました。館林市出身の向井千秋さんがスペースシャトルで日本初の女性宇宙飛行士として宇宙へ飛んだことを記念して現在の名前になりました。



向井千秋記念子ども科学館正面の写真です。大きなドームが特徴の建物です。

展示室と実験室、工作室、資料コーナー、天体観測室、電子顕微鏡室などがあり、見て・触れて科学の心を培えます。月の重力を体験できるムーンウォーカーもあり子ども達に大人気です。土日祝日は、大きなドームでプラネタリウムを楽しむことも出来ます。皆さんもぜひ、足を運んで宇宙を身近に感じてみてはいかがでしょうか。(文：鈴木)

- 所要時間: 交流の家から車で1時間25分(有料道路使用の場合) ■TEL: 0276-75-1515
- 住所: 群馬県館林市城町2番2号 ■営業時間: 9:00~17:00(受付時間は16:30まで)
- 料金: 大人(高校生以上) 320円(団体: 250円)、小・中学生 無料、幼児(未就学児) 無料
- 定休日: 毎週月曜日、国民の祝日の翌日(土・日を除く)、年末年始、設備の点検の期間等(月曜日が祝・休日の場合は、その翌日が休館日となります)
- ※プラネタリウム観覧料は別途必要になります。
- 大人 540円 団体: 430円、小中学生 210円 団体: 170円、幼児(未就学児) 無料

リレーcolumn
すたっぷの目

『青年部会におまかせ!』

文: 井上 仁人
【いのうえ まさと】



現在、登山とうどん打ちを極めている井上さん。

時は2012年10月。これからの青少年教育施設の在り方を模索している時代にそれは現れた。

某研修会で、関東甲信越地区にある青少年教育施設の若手職員が「我々(若手)で何かアクションを起こしたい」と発言。その場において、現行の青少年教育施設の在り方を改革したい意思をもつ若手職員が集まり、有志の組織、青年部会が結成された。

昨年、雨天時のプログラムをまとめた「アメージングガイド」を完成させ、現在は「青少年教育施設の認知度拡大」を目的として、「若手職員ネットワークを活かした事業の実施」、「利用団体や学校へ積極的な体験活動の場の提供」を始めている。

青年部会が、社会に“充実した体験活動の日々”を巻き起こす日は近い。青少年教育施設の若手職員の熱い行動に、こうご期待!

※活動の様子は、Facebookで紹介しています。
URL→<https://www.facebook.com/k.seinenbukai?fref=ts>

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL: 027-289-7224 (9:00~18:00) FAX: 027-289-7226
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp

つぶやき田

【テーマ: 雨の日の楽しみ方】

- 平日休みならDVD鑑賞と家の掃除。休日ならがっつり朝寝坊。(木暮)
- ラヴェルの水の戯れとともに買った漫画をむさぼり読むか、長靴履いてずぶずぶってやるか。難しい…。(小川)
- 雨音と音楽を聞きながら、ゆっくりするのが大好き。雨に合うのはnoonさんの曲。お勧めですよ〜。(川崎)
- 雨水を溜めるタンク(晴れの日の花木散布用に)があればもっと心が躍るのに…。(我が家にも欲しいです)(鈴木)
- 雨の日は外出を避けて、もっぱら家でテレビにくぎ付けです。スポーツ、ドキュメンタリー、映画が楽しみです。(松崎)
- アジサイに似合うような和菓子(葛饅頭など)に挑戦する。(森田)
- なんと言っても読書ですね。たくさん未読の本があるのですが、静かに集中できる環境がないのが悩みです。(原田)
- 多忙な時期となり、雨の日は体温温存のため休養日にします。雨の日を望むのは自分だけかな?(佐藤)
- 雨が降っているときも、あえて合羽を着て、長靴を履いて外に出かけるのが大好きです。(高瀬)
- 青少年教育施設の職員としてあるまじき、なのかもしれませんが、雨の日はお家でゴロゴロしているのが楽しいです。(中屋)
- 雨の日は家にもぐり込んで雨音を聞きながらぼーっとします。雷が鳴っていれば安全な所で稲妻見物をします。(手島)
- 本や図鑑を読みます。晴れた時の所内を回るのが楽しみになります。(山田)
- レインウェアを着て、雨がるところへ出かけよう。きっと、普段では感じられない物語が待っているよ。(井上)
- 雨の日は、おいしいコーヒーを飲みながら、のんびり読書が最高です。(織間)
- 夏の日の雨の降る前、空気が変わる瞬間が好きです。(新井)
- 雨は友達! 芝生の斜面で滑ると非常に楽しいですよ☆その後温泉→ビールが最高です〜(o)/ (江原)
- 森にいるならカッパを着て森に出る。雨ならではの音や匂いや発見がありますね。最近カタツムリ見てないな…。(根岸)
- 4月より赴任しました根本です。よろしくお願いします。雨の日は、子どもと図書館へ行き、読書します。(根本)
- 今日は星空がみられなくて残念だなあと、代わりに1人でレイショをみる。(落合)
- 朝は、コーヒーを淹れて、本を読みながらまったりと過ごします。午後は、娘と遊んでから一緒に昼寝します。(高橋)
- 雨の日は、机周りの整理か料理、疲れた時は、テレビの前で座敷トです。ギョーザととろろ汁が得意ですよ。(杉浦)
- 畑に水やりをしなくていいので、ゆっくり野菜たちの成長を眺め、虹が出るのをじいっと待ちます。(黛)

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

6-7
2014



「ノハナショウブ」

大昔から日本で咲いていたと言われていた「ノハナショウブ」赤城の大沼付近や覚満淵でも6月〜7月に見ることができます。田んぼの近くに良く咲いているため、昔の人は田んぼでの仕事を終え、ノハナショウブの美しさに癒されてから夕食の準備をしたそうです。なかなか道沿いに咲く花を見ることも少なくなりましたが、昔の人たちのように花を見る余裕があるといいですね。

次号は、
8月1日発行予定!

風のおと

何にやさしい環境なのか

風の街に赴任してきました。富士見町を一望できる交流の家の駐車場から、風に吹かれて夜景を眺めていると、宮崎駿の『風の谷のナウシカ』のシーンが浮かんできます。何度、ビデオで観たことでしょうか。その度に新しい発見があるのも名作たる所以だと感心いたします。私は、人に限らず花にも虫にも万物への思いやりこそがこの作品のテーマだと思っていますし、環境を考える上での必要十分条件だと考えています。つまり、人だけにやさしいのではなく、環境にもやさしい共生社会こ

そが大切なのだと言われている気がしています。近年、人には無害だとされている農薬が起因ではないかとミツバチの大量死が起こっています。ヨーロッパではこの農薬の使用を禁止する処置が取られ、どうもこしやジャガイモなどの栽培農家が頭を抱えています。一方ではミツバチの受粉に助けられている果実農家も困り果てています。これが教訓として活かされなくては、ミツバチの霊に刺されそうです。 所長 杉浦俊之

「交流の家HP」
「Facebook」で
当所の情報を更新中

体験の風を
おこそう



あかぎ カラゴロリ

地域の皆さまのご協力で大成功!!!

4月12日(土)に、第3回あかぎ南ろく桜フェスタが当所で開催されました。当日は少々風が強かったですが、桜は満開で気温も丁度よく、1,300人を超える人でにぎわいました。

このフェスタは、国立赤城青少年交流の家という施設を多くの人に知ってもらうとともに、体験活動の推進、地域社会との連携を目的に開いている事業で、3つのステージからなっています。



1つ目のステージはクラフトや、丸太切り、切り絵に火おこし、ツリーイングなど、たくさんの体験活動ができるチャレンジステージ。服をびしょぬれにしながら、魚のつかみどりをする子どもたち、真剣にクラフトに取り組んでいる姿が印象的でした。

2つ目は、地元の太鼓団体や中学校の吹奏楽部、さらにはご当地アイドルのライブなど、音楽やダンスを楽しめるコンサートステージ。子どもから大人まで楽しめる内容となっており、会場だったつどいの広場や講堂は盛り上がっていました。



そして3つ目は群馬の名物やスイーツ、お土産や農産物などを販売するにぎわいステージ。富士見町内の方々をはじめ、群馬の「美味しい」が集まったステージとなりました。

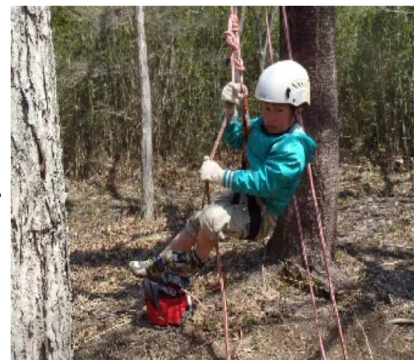


また、会場にはぐんまちゃんも駆けつけてくれて、開催3回目になる今年は、来場者数だけではなく、出店出演団体も45団体と過去最高となり、多くの人の笑顔と繋がりを集めることがで

第3回 あかぎ南ろく桜フェスタ

きました。

地元の人にとって、もっと身近で利用しやすく、青少年教育や地域振興のために地域と協働できる施設となるよう、これからもこのようなイベントや事業を展開していきたいです。(文:根岸)



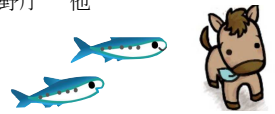
ご協力団体一覧

にぎわいステージ



おこわ専門店なでしこ、富士見商工会青年部、7年会有志、社会福祉法人あかぎの響、狩野商事、有限会社HAPPY ISLAND、アエントリーフーズ株式会社、屋台らーめん好、林牧場 福豚の里とんとん広場、アドベンチャー集団D.O.、AKAGIやる気塾、MOURA、キッチンハウスみやま・麦の夢、やきもの清山、はなぶさ農園、漢方薬草湯 太陽殿、NPO法人多言語教育研究所ICS、伊勢崎VYS、株式会社FDホープ、富士見商工会、大塚製菓株式会社、ユーレストジャパン株式会社赤城店、関越交通株式会社、赤谷森林ふれあい推進センター 林野庁 他

チャレンジステージ



前橋市赤城少年自然の家、チャウス自然体験学校、あかぎネイチャーゲームの会、萬屋レク之助、ぐんま山森自然楽校、切り絵教室(清野公枝)、群馬大学理工学部、群馬工業高等専門学校、レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場、ボーイスカウト群馬県連盟、上州竹とんぼの会、前橋市富士見赤十字奉仕団、NPO法人わくわく体験群馬サポートセンター、子どものくらしを守る会、大崎つりぼり、サンデンフォレスト、赤城南麓森林組合、NPO法人あかぎの森のようちえん 他

コンサートステージ



上州赤城太鼓、富士見中学校吹奏楽部、前橋マンドリン楽団、ぐんま観光特使 AKAGIDAN、育英短期大学 Girls×1、福島×群馬 風神桜馬 他

プログラム 紹介!

【グランドゴルフ】

グランドゴルフは、高度な技術を必要とせず、ルールが簡単なことから、だれでも手軽に楽しむことのできるニュースポーツです。学校の校庭や公園など広いスペースがあればホールポストを設置して楽しむことができます。



プレイの方法は、専用のクラブでゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにボールが入るまでの打数を競います。仲間と楽しく和気あいあいとプレーしたり、全力でプレーする中で、集中力や調整力を発揮する場面がうまく組み合わされています。だれでも取り組みやすく、さらに競技性の高いスポーツです。



ゴルフと聞くと大人のスポーツだと思われがちですが、小学生でも楽しく出来るスポーツですので、ぜひご活用ください。(文:新井)

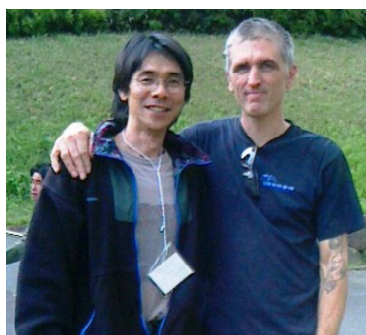
誰でも夢中になってしまいます♪

国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 研修指導員
あかぎアドベンチャープログラム (AAP)

増田 淳さん【じゅんさん】



今年からは、スーパー竹とんぼの指導もしてくれているじゅんさん(写真左)

AAPの研修指導員として活躍している「じゅんさん」の魅力は、何と言っても澄んだ力強い瞳です。指導中もその瞳で参加者一人ひとりを見て、チャレンジを後押ししてくれています。

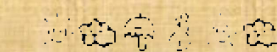
AAPの魅力は「普段気が付かない自分や仲間の一面を発見することができ、活動を通して、いつの間にか『心の壁』が低くなっていること」とおっしゃって

いました。そんな「じゅんさん」は、ロープを使った木登り「ツリーイング」の指導と指導者養成を行う「ジェネシスワン」で代表を務めています。「ツリーイングは、普段の世界とは違う世界を見ることができるよ」と話してくれました。

最後に「固定概念に囚われず、ニュートラルな視点を持って、人や物事を見てみてくれたらいいな」とメッセージをくれました。AAPの指導で会った際には、是非「じゅんさん」の瞳を覗いてみてください。きっといつもと違う世界が広がりますよ。

ジェネシスワン総合案内 → <http://gen-one.net> (文:江原)

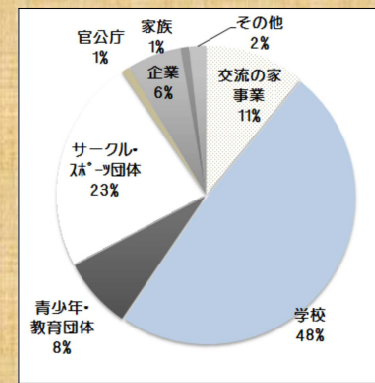
利用のようす(4~5月)



■4月の利用者数
…15,590人
106団体

■5月の利用者数
…17,793人
113団体

★利用団体
種類別の割合⇒



施設周辺の植物

梅雨の時期と言えば…施設内では少し歩くとアジサイ、百合、オオバギボウシといった花に出会うことができます。しかし、赤城山といえばツツジではないでしょうか。アカヤシオ、ヤマツツジと赤色を楽しんだ後は、シロヤシオ(なかなか満開に出会えません)、コメツツジと白を楽しむこともできます。新坂平では、10万株を超える群馬県の花レンゲツツジの大群落が現れます。牛が株回りの草を食べることで日当たりをよくしレンゲツツジを発達させているそうで、休日にはたくさんの人が訪れ鑑賞しています。



ぜひ、赤城山に足を運んで見事なツツジを楽しんでください。個人的にはサラサドウダンなんか大好きですが…。(文:小川)

野外活動における リスクマネジメント

入門編 第4回

赤城で活動するとき、判断を難しくさせるのが、雨と雷、そして風です。交流の家では、様々な気象情報や観天望気などを用いて天気を予測します。そのうえで、活動の危険が予測される場合は施設として中止をお願いすることがあります。例えばこれからの時期でよくあるのは、登山やキャンプファイヤーの実施判断です。施設として基準は当然、持っています(プログラムガイドのp16参照)。

雷は、近づいていることが明らかになったことがわかれば即中止を呼びかけますが、雨の場合は、一概ではありません。例えば、雨がふっても大丈夫な準備ができているか(カッパや靴は雨対応になっているか)活動の目的はどうか等を総合的に考慮してご提案をしています。事前に準備をしてきたし、実施したいというお気持ちは十分に承知しています。ただ、無理矢理実施して、結果オーライなこともあります。それはあくまでたまたま大丈夫だっただけのこと。事故が起きたとき「まさか自分たちが事故を起こすとは思わなかった」と必ず言います。事故が起こってからでは遅いのです。どうか自然体験活動のプロとしての職員の判断をご理解いただきたいと思います。

(文:高瀬)

これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください
⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)

名誉所長が就任しました!!

5月20日(火)独立行政法人国立青少年教育振興機構(東京都渋谷区)において委嘱状の授与式が行われ、集団行動指導で知られる、日本体育大名誉教授「清原 伸彦さん」が国立赤城青少年交流の家の名誉所長に就任いたしました。



■あかぎスポーツ交流デー

7/5(土)~6(日) 1泊2日

県内外の中学校のバスケットボール部、男女各12チームが集まり、優勝目指して戦います。

■教員免許状更新講習

①7/30(水)~8/1(金) 2泊3日
②8/22(金)~8/24(金) 2泊3日

自然環境や人間関係を構築するためのプログラムの体験を通して、教員の資質向上を図ります。

※今年度は2回行いますが、内容は同じです。

■あかぎやまなみチャレンジキャンプ

8/16(日)~8/23(土) 7泊8日

テントに泊まり、赤城山の自然をダイナミックに体験することが出来る長期の冒険キャンプです。「赤城山を満喫しよう!」をテーマに赤城山中腹からスタートし、大沼付近をベースに赤城のやまなみを縦走登山します。キャンプ申込や詳細については当所のホームページをご覧ください。

→<http://akagi.niye.go.jp/>